



▲日比野克彦氏デザインの市民オペラ「ラ・ボエーム」ロゴマーク

いよいよ始動!

市民オペラ

「ラ・ボエーム」

今年4月に市制施行50周年を迎える白石市。昨年8月に開催された「全日本学生新体操選手権大会」を皮切りに、特別巡回ラジオ体操や重要無形文化財「宮中雅楽」特別公演など、多彩な記念事業を市民の皆さんとのパートナーシップにより実施してきました。

今年7月に披露される、出演から衣装、メイク、舞台作りなど、市民の皆さんで創り上げていく市民オペラ「ラ・ボエーム」も、演出担当の日比野克彦氏を迎えてワークショップが開催され、2月からは合唱練習も始まるなど、本格的に始動しようとしています。



▲市民オペライメージ：平成13年12月 白石キューブ&ジュニア合唱団コンサートでのオペラ「カルメン」合唱部分

合唱などの中心となる白石キューブ合唱団の皆さん(平成15年11月、ホワイトキューブ6周年コンサート)



▲さとう宗幸さんと共演した白石キューブ&ジュニア合唱団の皆さん(平成15年9月、「蔵王のうた」コンサート)



市民の皆さんと一緒に作り上げる

市民オペラ「ラ・ボエーム」

ホワイトキューブのオープン以来、これまで国内外のさまざまな一流アーティストに接する機会を得て培った、市民の芸術文化活動をいかに発揮する機会として、市民の皆さんとともに市民オペラを上演します。

● 上演期日

7月中旬上演予定

※詳細が決まり次第、広報などでお知らせします。

● 会場

ホワイトキューブアリーナ

「オペラ」について

オペラ(日本語で歌劇)は、独唱・重唱・合唱・管弦楽などの音楽による劇作品の総称です。物語に沿って管弦楽などが生演奏し、オペラ歌手がセリフを歌います。歌手は女優や俳優でもあり、オペラの舞台や衣装も楽しみの一つです。

市民オペラ「ラ・ボエーム」

主なキャスティング(予定)

芸術監督……………三枝 成彰氏
舞台美術・演出……………日比野克彦氏
指揮……………大友 直人氏
ソリスト……………塩田美奈子氏ほか
合唱・黙役……………白石キューブ合唱団
白石キューブジュニア合唱団
市民有志ほか
管弦楽……………仙台フィルハーモニー管弦楽団ほか
助演……………市場や酒場の人々などを市民の皆さんが演じます。

市民の皆さんとともに作り上げる

市民オペラ

▼市民オペラ上演に向け、8名の市民の皆さんからなる実行委員会が中心となって準備を進めています。



市民オペラ実行委員の

志村浩幸さん(福岡深谷)から



「オペラ」のオの字も知らない私が、なぜ実行委員に?新しい発見・友・人間性をみがかうたと言ったらかっこいいかもしれません。委員の方々、事務局の方々には迷惑のかけっぱなしですが、第1回、第2回とワークショップを開催することにより、少しずつオペラのこと分かります。ボランティアの参加者の方々のアイデア・感性の豊かさに驚きと、日比野氏の演出の楽しさに深い感動を覚えます。本番の7月まで、ボランティア参加者の方々と一緒に楽しい舞台にするため、微力ながら頑張ります。市民オペラに多数の方々参加をお待ちしています!

「ボエーム」とは、ボヘミアンのことです。1830年代のパリを舞台に、成功を夢見て清貧に暮らす芸術家の卵たちと、その恋人たちが繰り広げる切なく美しい愛の物語です。
プッチーニ作曲のこの作品は、「椿姫」や「カルメン」と並んで世界で最も人気の高いオペラとして世界中の人々に愛されています。



▲ホワイトキューブ5周年記念コンサートで披露されたコンサート形式(音楽のみで上演する形式)でのオペラ「ラ・ボエーム」(平成14年6月)